

平成25年9月4日

第51回治山シンポジウムの開催について

平成25年10月3日（木曜日）国立オリンピック記念青少年総合センター（カルチャー棟）において「第51回治山シンポジウム」を開催します。

本シンポジウムは、治山事業を実施して100年が経過したことを期に、全国の治山事業によりよみがえった森林を「後世に伝えるべき治山」として林野庁において選定・公表されることに合わせ、幅広い視点から治山について討論します。

開催テーマ

「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」

趣 旨

治山事業を実施して100年が経過したことを期に、治山事業により復旧された森林を「後世に伝えるべき治山ーよみがえる緑ー」として選定し、国民の理解の醸成を図ることとしています。

本シンポジウムにおいて、選定結果が公表されることに合わせ、治山事業を後世に伝えていくためにどうすればよいか、今後の治山事業はどのように進めていくべきかパネラーの方々と議論いたします。

開催日時及び会場

日 時：平成25年10月3日（木曜日） 9時15分～11時30分開会（8時45分受付開始）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター（カルチャー棟）

所在地：東京都渋谷区代々木神園町3-1

プログラム内容

- ・ 開催挨拶
- ・ 「後世に伝えるべき治山ーよみがえる緑ー」 選定結果発表
- ・ シンポジウム

参加方法等

- 1 定 員：100名
- 2 参加方法：治山シンポジウム事務局へメールにて参加申し込み願います。
- 3 参 加 費：1,000円（資料代）

※ 報道関係者の方の入場については別途ご連絡願います。

主 催

治山懇話会

お問い合わせ先

治山シンポジウム事務局 担 当： 林

電 話： 03-6744-2309

e-mail： chisan_sympo@yahoo.co.jp

第51回治山シンポジウム

後世に伝えるべき治山

～よみがえる緑～

昭和の中期までよく見かけられたはげ山や、幾多の災害により荒廃した国土は、先人たちの努力により、緑がよみがえり、美しい景観を取り戻しつつあります。

治山事業を開始して100年を経過したことを期に林野庁が選定した「後世に伝えるべき治山」を発表するとともに、記念シンポジウムを開催します。

平成25年10月3日(木)

9:15～11:30 (受付開始 8:45)

国立オリンピック記念
青少年総合センター (カルチャー棟)

◇お申し込み方法

次の事項を記載の上、メールでお申し込みください。

- 1 氏名(フルネーム)
- 2 メールアドレス

(参加手続き(入金方法等)は9月19日中にご連絡します。)

◇参加費(資料代): 1,000円(定員100名)

◇お申し込み締め切り 9月18日(水) 17時まで

●「後世に伝えるべき治山」選考結果

プレゼンター

太田 猛彦(東京大学名誉教授:選定委員会座長)

●パネルディスカッション

パネリスト及び話題提供

座長 鈴木 雅一(東京大学教授)

- ・崩れの地をめぐる
青木 奈緒(作家:選定委員)
- ・ジャーナリストから見た治山事業
米倉 久邦(ジャーナリスト:選定委員)
- ・西部地震からの復興と未来世紀につなぐ緑のバトン
瀬戸 普(王滝村長)
- ・社会情勢の変化と治山施設の評価
安田 伸生(森林部門技術士会)
- ・森林の機能を活かした治山対策
市村 正彦(元長崎県職員)

主催: 治山懇話会

◆お問い合わせ

治山シンポジウム事務局(担当: 林)

電話 03-6744-2309

E-mail: chisan_sympo@yahoo.co.jp

このシンポジウムは「緑と水の森林ファンド」事業の助成を受けて開催されます。

